

平成 29 年度学校評価及び学校関係者評価について（報告）

1 自己評価関係

- (1) 学校教育目標 夢をもち 共に学び きたえる 心豊かな児童の育成
- (2) 主な努力事項
 - ア 確かな学力の向上
 - イ 豊かな心と夢の育成
 - ウ 健やかな身体の育成
 - エ 特別支援教育の充実
 - オ 社会変化への対応能力の育成
 - カ 家庭・地域との連携の強化
 - キ 教職員の資質の向上

(3) 総括 ○成果の（ ）内の児童，保護者の％は 12 月に実施した学校評価のデータに基づく。

分野	学校評価のまとめ（・取組○成果◆課題）	□改善策
ア 確 か な 学 力	<ul style="list-style-type: none"> ・よつばタイム（朝の時間）の実施 月曜（漢字検定），火曜，水曜（百ます計算），木曜（読み聞かせ，読書），金曜（音読：4月～9月） ※県学力診断のためのテストに向けた学力強化・結果を受けての課題克服と学力定着 ・個別学習の実施 放課後を活用した個別指導（火，木，金曜） ・学びのプログラム「言語プログラム」「マスタープログラム」の実施 「言語プログラム」音読，漢字検定，読書，視写，作文 「マスタープログラム」ひらがな，カタカナ，九九，慣用句，ローマ字，都道府県，ことわざ，歴史事象 ※児童の学力を全職員で支える考えから，担任だけでなく，職員室の教員も関わっている。 ・家庭学習がんばりカードの活用 教務主任が課題提示とチェック ○基礎的・基本的な知識・技能の定着を図る授業の実践により，分かる授業の展開がなされている。 (児童 98%，保護者 92%) ○漢字検定やステップアップテスト，学びのプログラムの合格を目指すことで，基礎的・基本的な学力の定着につながった。(児童 96%) ○学びのプログラムテストに向けての練習や宿題以外の勉強を家で取り組むことで，基礎的・基本的な学力の定着や学習に対する意欲につながった。 (児童 92%，保護者 80%) ◆「学び方ガイド」を活用し家庭学習の習慣化を図ってきたが，保護者の評価は 8 割にとどまっている。 (目標 90%→70%) 	<ul style="list-style-type: none"> □「学び方」と「家庭学習チェック表」を同一のシートにし，定期的に保護者の印をもらうことで，保護者の意識が高まるようにする。 □書いたり話したりすることに苦手意識がある児童に対し，朝の時間や個別指導等で自信を付け，表現力の向上をめざす。
イ	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通したなかよし班活動 縦割り班清掃（毎日※除：木曜日，第 1 週は学級） なかよしタイム（毎週木曜※第 2 週は学級） 運動会，わくわく感謝祭，なわとび集会みんなでチャレンジ（8 の字跳び） ・郷土愛や将来の吉原につながる活動 	

<p>豊 か な 心</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・いぶきの丘公園における植樹（6年） ○学級経営や学校行事の工夫が見られ、学校生活や学校行事に満足している保護者や児童の割合が高い。 (保護者 97%, 児童 100%) ○なかよし班活動では、上級生が下級生の手本となり各班とも思いやりの心や強い絆を育むことができた。(農業活動、運動会、なわとび集会等) ○不登校ゼロ。欠席ゼロ 88日(1/24 現在)。いじめ・悩みの早期発見、早期対応に心掛けた。 ◆朝の会や帰りの会等、自分の夢や目標を話す機会を設けてきたが、児童が 84%, 保護者が 82%にとどまっている。 	<p>□学校でキャリア教育や夢を語る機会をもち、家庭で将来について話す機会を増やすよう学校便りで協力依頼する。</p>
<p>ウ 健 や か な 身 体</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・運動の習慣化と体力づくりの推進 休み時間の外遊びの励行 体力アップ大作戦(毎週火・金曜日) 君原小と吉原小との合同持久走大会 12/1 なわとび集会 2/2 ・健康・安全に関する自己管理能力の育成 登下校時の交通安全指導(職員, PTA環境安全委員)年間 ・交通安全教室(牛久警察署, 阿見町交通防災課) 4/19 ・通学路安全点検及び通学路安全マップづくり(登校班) 5/29, 6/1 ・救急救命・心肺蘇生法講習会(阿見町消防署, 救急救命ボランティア)(5・6年) 6/22 ・避難訓練 避難経路確認 4/19 不審者対応訓練 7/14 Jアラート対応訓練 9/7 阿見中学校区合同避難訓練並びに引き渡し訓練 10/3(地震) ・危険箇所の点検と早急な対応 複数教員による安全点検の実施(毎月初旬)と危険箇所の修繕 ・栄養教諭による食育に関する指導, 養護教諭による保健指導・面談の実施(全学年) ○保健・給食委員会による清潔調べやペロリン賞, うがい, 手洗いの励行を通して, 健康に対する自己管理能力の育成を図ることができた。 (ペロリン賞・がんばり賞目標 50%→50%以上) ○交通安全教室・救急救命講習会, 110番の家への訪問等により安全教育に対する意識の向上を図ることができた。 ○体育の授業, 体育カードの活用, 体育的な学校行事, 休み時間, 体力アップ大作戦を通して体力の向上と運動の習慣化を図ることができた。 (体力テストA+B 目標 58%→62.8%) ※H28より+8.8ポイント 	<p>□体力アップ大作戦の継続により体力の向上を図る。</p>
<p>エ 特</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザインの具現化 学習の進度や授業の流れが誰にでも分かる工夫 学習に集中でき, 学習の足跡が分かる環境 ・個別の教育支援の充実 	<p>□道徳・学級活動の時間, 日々の活動等を通して, お互いを認める機会をつくり, 個性を理解し合えるようにする。</p>

別 支 援 教 育 の 充 実	<ul style="list-style-type: none"> ・職員間の情報の共有と支援体制の充実 ・特別支援教育専門家派遣による指導と支援 ・阿見中学校並びに阿見小学校との連携会議，学校見学の実施 ○職員会議や校内教育支援委員会などを通して，児童についての情報の共通理解を図った。家庭との連絡も密にし，相談し合える体制を作った。医療機関との連携や阿見中学校・阿見小学校との特別支援教育連携会議や学校見学を行い，学校間の連携を図ることができた。 ○スクールカウンセラーや特別支援学校の専門家の活用による指導・支援を受けることで，個別の対応の仕方や家庭との連携の仕方など学ぶことができた。 	□阿見中学校・阿見小学校での学校見学の場を通して，保護者・児童の不安を軽減し，安心して進学，統合できるようにする。
オ 社 会 変 化 へ の 対 応 能 力 の 育 成	<ul style="list-style-type: none"> ○ふれあい地区館シニア部会の方々との交流(校内みどりの日による除草活動，さつまいもの苗植えや収穫，わくわく感謝祭)を通して環境教育の充実を図ることができた。(保護者 92%) ○5・6年生以外にも外国語活動を取り入れたり，ALTと共に給食を摂る時間を設けたりし，国際理解や感覚を養う機会につながった。 ○国語，社会，算数，理科を中心とした教科指導における電子黒板やデジタル教科書の活用を通して，学習に対する意欲や理解につながった。 ○学期末のまとめや家庭学習に e ライブラリーを活用することで，ドリル学習プログラム基礎問題から発展問題まで個人の学習に対する主体的な取組につながった。 	□吉原小学校の児童が誇りをもって吉原小を去り，阿見小学校や阿見中学校へ行けるように閉校式の成功と思い出作りのための手立てを講ずる。
カ 家 庭 ・ 地 域 と の	<ul style="list-style-type: none"> ・地域人材を活かした地域学習（総合的な学習の時間） 4・5年生「縄文土器づくり（2/6， 2/26）」 外部講師：林さん（下吉原）ほか5名 ・学校防災連絡会議の継続開催，防犯パトロール隊，110番の家との連携強化 第5回学校防災連絡会議の実施（2/6） 阿見町交通防災課，学校教育課，生涯学習課との連携(吉原地区避難所マニュアル完成) 防犯パトロール隊による巡回（登，下校時） 110番の家への訪問 （感謝の手紙配付を年2回年度始，年度末に実施） ・人材を活かした特色ある活動の充実 (農業・シニア部会・和太鼓・吉原フレンズ・竜ヶ崎工事事務所) JA，茨城大学大学院生との農作物の体験活動 除草作業，さつまいもづくり等の体験活動をシニア部会の方々と交流 吉原小学校区ふれあい地区館主催の「第27回ふれあい広場」への参加 吉原小和太鼓会の演奏，4・5・6年生による演奏（町音楽会発表曲披露） 「わくわく感謝祭」などの学校行事を利用した積極的な交流（シニア部会，地域の方）おもてなしコーナー，昼食の接待等 保護者ボランティア（吉原フレンズ）による読み聞かせ（第2，4木曜），読み聞かせ集会（12/14） 	□閉校後も吉原地区内でのコミュニティが継続されるよう子ども会に働きかける。

<p>連携の強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・竜ヶ崎工事事務所とのコラボ 6年：いぶきの丘公園における植樹，西光寺座禅体験 吉原小ソング 人文字で描く 138年～吉原小学校ラストイヤープロジェクト～（ドローンでの空撮） ○「わくわく感謝祭」でのおもてなしコーナーや昼食の接待に加え，保護者ボランティア（吉原フレンズ）に対する感謝の気持ちを伝えることができた。 ○4・5年生「縄文土器づくり（2/6，2/26）」外部講師：林さん（下吉原）ほか5名を招聘し，地域人材を活かした地域学習（総合的な学習の時間）の充実を図る。 ○学校防災連絡会議の継続開催（H29：3回）により，吉原地区避難所運営マニュアルを完成させることで，閉校後の避難所運営の一助となった。 ○J A，茨城大学生との体験活動・シニア部会の方々との交流活動，ふれあい広場，町伝統芸能での演奏，竜ヶ崎工事事務所とのコラボなど，人材を活かした特色ある活動の充実を図ることができた。 ○防犯パトロール隊による巡回協力（登，下校時），110番の家への訪問（感謝の手紙配付）により，交通事故ゼロと地域による児童の見守り意識が確立できた。 	
<p>キ 教職員の資質の向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・講師招聘，相互参観等による計画的・継続的な研修の実施 ・校内支援研修の充実 11月20日（月）「外国語及び外国語活動について」（H30，31移行期間，H32全面実施） 11月27日（月）「幼児教育と小学校教育の接続のための研修会」 ◇講師 茨城県県南教育事務所学校教育課 主査 矢口 和子 先生 1月15日（月）「特別の教科 道徳」 ・教員評価・人事評価と学校評価の連鎖 自己申告書の工夫 人事評価・教員評価面談での学校評価からのフィードバック及び職務に対する意欲の向上 ・授業を見合う会（「ここ見てカード」を活用しての授業参観） ・服務規律の徹底 コンプライアンスに関する研修（ボトムアップ研修の導入） 3ない運動（体罰・飲酒運転・セクハラ）＋個人情報の管理，金銭の取扱等 ○「幼児教育と小学校教育の接続のための研修会」（研修内容の理解：教職員95%）等の教職員一人一人の資質と授業力の向上を図るため，校内研修の内容を工夫できた。 ○授業公開（教員評価授業参観）時の積極的な参加を促した結果，良い点・課題点を確認し合い，授業改善の一助となった。また，ともに高め合う教師集団としての意識の向上を図ることができた。 	<p>□信頼される教職員集団となるため，コンプライアンスに関する研修の充実と信用失墜行為撲滅について各自の意識の向上を図る。</p>

その他	<ul style="list-style-type: none"> ・コロッケパーティー（7月） ・サバイバルお泊まり会並びに大花火大会（8月） ・運動会仮装行列（9月）H29：全校児童，H28：PTA 本 部役員・全教職員 ・わくわく感謝祭（10月） <p>『お世話になった方々や地域の方々に感謝の気持ちを伝えよう！』</p> <p>お世話になった方々との活動を紹介する『ありがとうアルバム（スライドショー）』</p> <p>ミニコンサート（合奏・合唱）</p> <p>おもてなしコーナー（学年ごとにゲームやお笑い，収穫したポップコーンを配るなど）</p> <p>昼食（学校農園で収穫した作物でさつまいもご飯，豚汁，大学芋）</p> <p>⇒お世話になった方々，地域の方々，家族と一緒に会食（総勢 250 人）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感謝祭終了後『思い出がいっぱいミュージアム』を開放 ・人文字で描く 138 年～吉原小学校ラストイヤープロジェクト～（3月8日） ・思い出がいっぱいミュージアムの充実 (344 人来校※ 2/28 現在) <p>○さまざまな特別な思い出づくりを企画し，児童，保護者，地域の方々にも満足していただいた。</p>
-----	---

2 分野別評価

(1) 学校関係者評価委員会関係

<実施内容>

- 期 間：平成30年1月24日（水）から2月8日（木）まで
 ※1月24日（水）第3回学校評議員会並びに学校関係者評価委員会を実施し，
 授業参観と協議を行った。
- 方 法：質問紙法（別紙参照）
- 対 象：区長，学校評議員，PTA会長，PTA前会長（計8人）
- 回収率：87.5%

<評 価> 次の5段階とする。

A：大変満足している B：やや満足している C：あまり満足していない D：全く満足していない E：分からない

※数値は，%を示す

評 価	A	B	C	D	E	計 (A+B)	総 合
ア 確かな学力	100	0	0	0	0	100	A
イ 豊かな心	85.7	0	0	0	14.3	85.7	A
ウ 健やかな身体	100	0	0	0	0	100	A
エ 特別支援教育の充実	71.4	14.3	14.3	0	0	85.7	A
オ 社会変化への対応力	85.7	14.3	0	0	0	100	A
カ 家庭・地域との連携	85.7	0	0	0	14.3	85.7	A
キ 教職員の資質向上	85.7	0	0	0	14.3	85.7	A
平 均	87.7	4.1	2.0	0.0	6.1		A

【参 考】(A+B)の合計で『総合』のABCDEを評価する。

100 80以上 60以上 40以上 20以上 0 (%)

A	B	C	D	E
---	---	---	---	---

努力 事項	学校の取組に関する評価 (◎) と今後の改善点 (◆), 意見や感想 (・) ※ () 内は人数を示す	評価
ア 確 かな 学 力	◎朝の時間帯を活用したよつばタイムの実施, 放課後を活用した個別指導, 学びのプログラムとして言語・マスタープログラムの実施等児童の学力を全職員で支え取り組んでいる教育内容に満足している。(1) ◎「学びのプログラム」を通して, 身近に目標をおいて学習することにより, 学力向上を児童自身が実感できた。(1) ◎放課後を利用した個別指導が良いと思った。子どもたちの学力・進み具合に配慮いただき感謝している。(1) ◆校内での漢字検定をしているので, 日本漢字能力検定や実用数学技能検定(数学検定・算数検定)などにチャレンジする子どもたちが出てくると良い。(1)	A
イ 豊 かな 心	◎なかよし班を通し運動会, 感謝祭, 縄跳び大会に参加し, 人の和の大切さを学ぶ。また, 吉原の郷土への興味をもち, 植樹等社会貢献したことは今後の人間形成に繋がる。(1) ◎縄跳びの練習などを見ていると, 上級生が下級生を教えている様子を見ると頼もしい。(1) ◎友達・先輩・後輩の接し方や常識を身に付ける大事な時間だと思うのでとても良いと思う。(1) ◎なかよし班活動, 縦割り班活動, 吉原小学校ならではの活動で良い。(1) ◎上級生と下級生, お互い学べることが多く心の成長に必要である。(1)	A
ウ 健 や かな 身 体	◎運動の習慣化と体力づくりの推進に向け, 外遊びの励行, 体力アップ大作戦, 他校との持久走大会は, 子どもたちにとって健やかな身体育成であり, 又, 健康面, 安全面からの自己管理に関しては, 他職種関係者との連携により児童から教職員まで充実した実施内容である。(1) ◎「運動の習慣化と体力づくりの推進」により, 学力だけでなく, 体力向上と運動の習慣化が図れたことは評価できる。(1) ◎毎日, 朝ご飯を食べているようでお母さんが頑張っている。(1) ◎遊びの中で体力アップができるのは, とても良いことである。(1) ◎登下校時の交通安全指導等, 先生方には感謝している。先生方が通学路に立っていて, 保護者としてどれだけ安心して子どもを送り出せたか分からない。感謝している。(1)	A
エ 教 特 育 別 の 支 充 援 実	◎学習に集中できる環境づくり, 個別の教育支援の充実, そして, 統合された後の学校間の関係プレーを願う。(1) ◎精神的に不安定であり, 将来を左右する時期にいる児童のための日頃のご苦労に感謝している。(1) ・新年度から通う阿見小学校へスムーズに移ることができることを願っている。(1) ◆具体的にどこに生かされているかが, よく理解できなかった。(1)	A
オ 対 社 応 会 能 変 力 化 へ の	◎勉強が楽しいと思える教材を使つての教育はとても良いことである。(1) ◎シニア部会との交流も地域の方々の協力があり感謝している。さつまいもの苗植えや収穫, シニアの方々に御指導を受けられることや会話をすることも貴重な経験だと思う。(1) ・活躍するあらゆる地域住民の協力を得て, 社会の繋がりを知ってほしい。又, 今後は時間の流れに沿いコンピュータの活用を推進してほしい。 ◆今後も外国語の授業を低学年から受けられるようにし, ALTとの活動時間を増やしてほしい。	A
カ 連 家 携 庭 強・	◎シニア部会, 和太鼓会, 吉原フレンズ, 竜ヶ崎工事事務所の方々には, 普段体験できないことを経験させていただいた。子どもたちは幸せである。(1) ◎地域の方々との繋がりを持つことは大事なことであり, 心が豊かになると思う。これからもご近所の方々との繋がりをなくさないでほしい。(1)	A

化地域	◎保護者と地域との連携により土器づくり，防災への取組，シニア部会との協働作業等，特色ある活動の充実が図られている。(1)	
キ教職員の資質向上	◎子どもたち一人一人の個性を生かして教育していただいた。吉原小の先生方，統合や閉校に向けて大変な年だが充分尽くしていただいた。 ◎研修や授業を見合う会などとても素晴らしいと思う。 ◎各教職員全力で児童に向かっている姿勢に満足している。研修会，教員評価と学校評価からのフィードバック更にコンプライアンスに関する研修と徹底した研修内容に満足している。(1)	A
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度で吉原小学校は閉校となるが，子どもたちは先生方の温かい愛情を受け素直に育っている。閉校はとても残念である。(1) ・3月で吉原小学校はなくなるがこれまで子どもたちのためにご苦勞いただき感謝している。(1) ・吉原小学校のためのご努力に感謝している。(1) ・残りわずかになった吉原小学校の生徒のため児童のため，そして地域への心遣いに校長先生をはじめ諸先生方の誠意に感謝する。(1) 	

<最後に>

保護者の皆様，地域の皆様，学校関係者様におかれましては，長年にわたり本校の教育活動への御理解，御協力をいただき感謝申し上げます。吉原小学校での生活も残り一月半となりました。卒業式や閉校式典に向け，児童，教職員が一丸となって準備を進めております。児童は，阿見小や阿見中に行っても自分らしさが発揮できるまでに成長しました。今後の活躍を期待しております。

最後になりますが，閉校後も吉原地区の絆を大切に，皆様の御多幸と御発展をお祈り申し上げます。